

家庭学習の手引き

この『家庭学習の手引き』を、
ご家庭での学習の参考にしてください。

家庭で学習する時のポイント

- 1 学習に集中できる環境を整える。**
 - テレビやゲームを消す。携帯電話も近くには置かない。
 - 机の上をきれいに整理する。
- 2 授業の復習と宿題をする。**
 - その日のうちに授業に関係するものを確実に終わらせることが基本です。
 - 返されたテストやプリントは、もう一回解き直したりまとめ直しましょう。
- 3 自主学習に進んで取り組む。**
 - 得意な分野は更に伸ばし、苦手な分野は克服できるように頑張りましょう。
- 4 タブレットは上手に活用する。**
 - タブレットを使用する場合は、学校で決められたルールを守り上手に活用しましょう。

国語

日本語の美しさ、豊かさ、奥深さについて学びます。

日本語の美しさに触れることは、日本の文化に触れることです。また、日本語の持つ表現の多様さを知り、言葉の感性を磨くことは、社会を生きていく上で大いに役立ちます。

国語を勉強するときのポイント

- ① 言葉に関心を持とう。分からない言葉は辞書を引きましょう。新しく知った言葉は失敗を恐れずどんどん話したり書いたりしましょう。そのために漢字練習や短文作りをして言葉や表現を覚えることも大切です。
- ② 文章を正確に理解するために、繰り返し丁寧に音読しましょう。
- ③ 自分の考えを大切に、どんな気付きでもノートやプリントに書き込みましょう。
- ④ 社会生活に生きる表現力を身に付けるために、文章の要約や作文などに取り組みましょう。

社会

いろいろな人や地域との関わりを学びます。

今、生活している場所に関わる人や仕組み、そして今までのことを知ることは、これから生きていくために必要な知識です。

社会科の学習は、私たちのこれからの生き方や生活に直結しています。現在の世界は、1つにつながり関わりあっています。日本や世界のことを深く知り、昔の人や出来事を学ぶと今を生きるヒントになります。

社会を勉強するときのポイント

- ① 教科書の内容を年表や略地図などにして、自分なりにノートにまとめてみましょう。
- ② 重要語句を覚えるだけでなく、事象と関連付けて覚えましょう。
- ③ ニュースや新聞、社会に関連する本などを積極的に読んでみましょう。

数学

数学的な考え方を学ぶことは『考える力』を付けることです。困難にぶつかったとき、それを解決するために必要な力です。

数学を勉強しておくで、物事を順序立てて効率よく考えることができるようになります。『考える』ことは、他の学習や仕事でも必ず必要です。『考える』ことが数学の基本なのです。

数学を勉強するときのポイント

- ① 授業で学習した問題を、もう一度解き直しましょう。
- ② ワークから類似問題や発展問題を探し、解いてみましょう。
- ③ 間違ったところは、どの部分が理解できなかったのかを確認し、類似した問題を解いてみましょう。
- ④ 計算方法や法則などをしっかりと覚えることも必要です。覚えたことを活用して問題を解くだけでなく、実生活で活用できる場面がないか考えてみましょう。

理科

身の回りにある不思議を学びます。不思議なことの理由が分かると、より深い考え方ができるようになります。

実験は楽しいけれど、ノートにまとめたり、問題を解いたりするのが苦手という人は、意外に多いものです。実験や理科の学習をもっとおもしろくするには、実験の結果をまとめ、気付いたことや考えたこと、疑問点などを書くことです。それが、次の実験や理科の学習を更に楽しくするので。

理科を勉強するときのポイント

- ① 大切な用語（教科書の太字で書かれた用語）の意味をノートや教科書を使って自分でまとめ、授業で習ったことを振り返ってみましょう。
- ② ワークを何度も解き、間違ったところをもう一度確認しましょう。テストも必ず解き直してみましょう。
- ③ 科学に関する事象が身近にたくさんあります。理科で習ったことが日常的な物事とどう結びついているかを確認しましょう。

英語

これからの社会に必要な言葉です。世界に目を向けることが必要な時代になりました。多くの人とコミュニケーションをとるために必要なスキルです。

言葉は、積極的に使っていくうちに間違えながら身に付けるもの。英語も、間違いを恐れず、繰り返し聞いたり話したり、読んだり書いたりして、どんどん間違えながら覚えていくことが大切です。何度も繰り返し言ったり、書いたりして覚える努力をすれば、誰でも身に付く教科なので、頑張りましょう。

英語を勉強するときのポイント

- ① 新出単語の意味を辞書で調べ、実際に声を出して読み、文字と音声を結び付けましょう。
- ② 教科書を声に出して読んだり、単語やキーセンテンスの書き取り練習をしたりしましょう。
- ③ 宿題の他に、ワークなどを使って問題練習をすることも大切です。1回だけでなく、繰り返し（3回以上）解いてみましょう。

暗記することだけが、勉強ではありません。「勉強」という活動を通して「考える」ことが大切です。仕事や家庭生活など、いろいろな場面に対応できる“力”すなわち「生きる力」を身に付けられるよう、学習に励みましょう。

